

授業の概要	(内容) 四面を海に囲まれ、水産物を主要なタンパク源の一つとする我が国にとって「海、水産物、船」の果たす役割の重要性やその全体の基礎となる内容を学習します。		到達目標	水産物の持続的生産、安定供給を中核として、海洋環境保全、海洋開発、水産物以外の海洋資源の利用、海洋性レクリエーション等の場の提供、海の文化の継承など、我が国経済社会の中で重要な役割を果たしていることを学習し、海洋を生活基盤とする職業に対する関心を高めることを目標とします。	
	(形態) 講義				
年間の授業計画		項 目	内 容		
	一学期	4	オリエンテーション	・ 授業の進め方について説明。	
			海と生活	・ 海の歴史、文化、経済等を学習します。	
		5	海の生物	・ 水産上重要な生物についての内容です。	
		6	海水の流動	・ 日本近海の海水の動きの内容です。	
	二学期	7	海洋環境の保全	・ 海洋汚染が起こす環境破壊を学習します。	
		9	食生活と水産物	・ 日頃食べている水産物を上げてみよう。	
		10	とる漁業, つくる漁業, 資源管理	・ 漁業とは何なのか。その内容を探ろう。	
		11	水産物の加工と流通	・ 水産加工品と水産物の流通の内容です。	
	三学期	12	海洋関連産業	・ 海の総合的な利用方法について知ろう。	
		1	船の種類と役割	・ 役割に応じた船の種類を上げてみよう。	
		2	船の運航	・ 船の操縦者の職責について学ぼう。	
学習方法	3	機関の概要	・ エンジンについて学習しよう。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水産基礎 A は水産基礎 B と関連づけながら学習を行います。 ・ チャイムが鳴る前に教室に入り、準備に努めてください。 ・ 正しい姿勢で授業に望んでください。 ・ ノートは各考査まで 4 回 ~ 5 回点検します。欠席の場合は出席次第速やかに提出しましょう。大学ノートに書くように他の教科と兼ねたノートは不可。 ・ 水産高校に入学して初めて習う専門の教室での授業です。普段、新聞やニュースに登場する水産に関しての記事に目をやる習慣をつけておきましょう。スーパーの折り込み広告などもよく見ると良い題材がありますよ。 				
	ペーパーテスト 70 %		平常点 30 %		
評価方法	・ 教科書、ノートより出題		・ 出欠状況 (遅刻・欠席)		
	・ ペーパーテストは教科書、板書内容が中心。特に板書では教科書にない最新の内容を行います。必ず毎時間ノートを書いておくようにしよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の取り組む姿勢 ・ ノートの提出状況と内容 ・ チャイムを守っているか。 ・ 良い姿勢で授業を受けているか。 ・ ノートの提出とその内容かどうか。 		
教材	教科書 『水産基礎』(海文堂)		アドバイス	水産の専門 (2 年生からの 7 コース) の共通の基礎科目です。しっかり学習して 1 年後に自分が入るコースを選択してください。水産業を担う人材となるための心構えをしっかりと持って学びましょう。	